

## 第 1 回 総合計画審議会における主な意見等

## 議事(2) 清須市第2次総合計画（後期基本計画）の策定のながれについて

- 1 前期基本計画策定時には、市政推進委員の方からもアンケートの形で意見聴取を行っていたので、今回も同様に意見聴取を行うと良いと思う。また、高校生や大学生など、若い世代に集中して意見を聞きに行くというようなことも良いと思う。

## 議事(3) 清須市第2次総合計画（後期基本計画）の策定に向けて

- 1 私たちは、「女性の会」として活動しており、元気なまちというところで、会員ではない一般の方も一緒になって体力づくりなどに取り組んでいる。こういう横のつながりを持って、市の役に立てたら良いと考えて活動している。
- 2 清洲城、朝日遺跡、貝塚資料館といった地域資源を活かすためにも、これらの効果的なPRを行うとともに、遊歩道の整備などアクセス利便性の向上に努めていただきたい。
- 3 歴史に興味を持つ小中学生も多いと思うので、講座の開催にあたっては、開催時期や講師を工夫するなどして、年代を問わず参加しやすい環境を整えていただきたい。
- 4 放課後子ども教室を全小学校で実施していただきたい。
- 5 「学校支援地域本部」へのシニア世代の参画促進は、市民協働の推進という側面もあると思う。市民協働係によって学校と市民を上手くつなげていただきたい。
- 6 都市近郊に位置する清須市において、農地が徐々に減少している現状を踏まえると、農地が有する多面的機能を将来的にも確保していくのは非常に難しいことなので、総合計画の中に次なる目標を定めて方向付けをしていただきたい。
- 7 数値目標のチェックなど施策の進行管理を十分に行わないと議論が前に進まない。
- 8 清洲城の入場者数が減っていると聞かすが、ネタの少ない清須市において、リピート客を増やすためには、実際にお客様が今何を望んでいるのか、それをどうやっておもてなしするかということと、お城の中に飾ってある展示物についても展示スペースの拡大や内容物の入れ替えを行う必要があると思う。また、リニューアルオープンを予定している貝塚資料館との連携も必要である。
- 9 高齢化が進む中、市民協働の観点から、高齢者の社会参加を促すためには、やりがいを感じてもらうことが必要である。
- 10 増築した庁舎は、防災拠点施設の機能を備えているものの、この地域で西日本豪雨のような水害が起これば避難経路の確保が困難である。旧清洲庁舎跡地は、市内でも海拔が高い土地になっているので、そこに第2の防災拠点となる施設整備を考えていただきたい。
- 11 大人目線で会議を進めるのではなく、もっと子ども目線で、大人だけでなく子どもにとっても住みやすいまちづくりをしていただきたい。
- 12 市民協働の推進の観点から、社会福祉協議会に登録がある福祉ボランティア団体が、それぞれの団体の活動を報告できるとか、その活動の輪をさらに広げることができるような仕組みを考えていただきたい。

- 13 市で地域福祉計画を策定する中で、社会福祉協議会の地域福祉計画と一本化した計画を策定していただきたい。そうすることによって、全体の福祉を充実地域でそれぞれ助け合って、支えるまちづくりの推進につながると思う。
- 14 合併して十数年経つが、一堂に集まることができる施設がないため、いまだに旧4町内で独立して体育祭が行われている。これから将来ある子どもたちのためにも、総合運動施設を市の将来ビジョンとして挙げていただきたい。
- 15 人口を増やすだけでなく、税収確保や雇用創出を図るためにも、行政自ら優秀な企業を誘致するなど計画的な土地利用を行っていただきたい。
- 16 2市1町で、障害者の生活拠点となるグループホームを整備する計画があると聞いている。ぜひ、実現に向けて進めていただきたい。
- 17 最近では自閉症の子どもが多くなってきているので、早期発見するための支援教育の充実と、周囲の子どもにも障害を理解してもらうための福祉教室のような取組を行ってほしい。
- 18 障害の軽い方というのは年金がほとんどないという状態で、働いても僅かな収入しか得られず、生活面で将来に不安がある。生活保護制度があることは承知しているが、市から少し援助があると良いと思う。
- 19 健常者スポーツは多くあるが、障害者スポーツは少ない。障害のある方も気軽にスポーツができる環境があると良いと思う。
- 20 災害時に自ら避難することが困難な方を支援するため、避難行動要支援名簿、この仕組みをしっかり作って、運用していただきたい。
- 21 市でも、福祉ガイドに障害者の方が書いた絵が載っていたりするが、もう少し障害者アートの活用を考えていただきたい。
- 22 後期基本計画の策定では、前期基本計画の検証と課題整理にしっかり取り組んでいただくとともに、具体的な形で実施計画が立てられるような基本計画の内容にしていきたい。
- 23 市では多くの区画整理事業を実施しており、将来的にはそこに住宅が建ち、若い世代の方が流入すると思うが、その時に、後手で何かするのではなく、その状況を想定する中で、市としての政策を提示していただきたい。
- 24 朝日遺跡、清洲城といった施設を結ぶ仕組みを作るなどして、「観光清須」として、これからのビジョンを打ち立てていただきたい。
- 25 市は、庄内川、新川、五条川という三つの河川に囲まれたまちであり、治水対策を忘れてはならないと思う。なかなか自然の脅威にはかなわないので、災害が起きた場合に、いかに復興に向けて立ち上がることができるか、そういうまちづくりの視点を考えていきたい。
- 26 防災の観点から、市内に多くある空き家の対策も一つのビジョンとして挙げていただきたい。
- 27 あしがるバスを中心とした公共交通網の充実は大変重要であると思う。「あしがるバス」の事業をさらに広め、そして周知していくことは重要であると認識していただきたい。